

森林資源の循環利用の促進に関する 年次報告書



令和 7 年 9 月
鹿 児 島 県

は じ め に

森林は、県土を守り、清らかな水や美しい景観を提供するとともに、生物多様性を保全し、地球温暖化の主な原因とされる二酸化炭素を吸収・貯蔵するはたらきを有するほか、木材をはじめとする林産物を供給するなど、安心・安全な県民の生活になくてはならない県民共通の財産です。

これらの森林のうち、本県のスギ・ヒノキ等の人工林は本格的な利用期を迎えており、この豊富な森林資源を循環利用することにより、森林の有する公益的機能の持続的な発揮を図りつつ、林業の成長産業化を実現していくことが重要となっています。

しかしながら、林業の採算性の悪化、森林所有者の高齢化及び不在村化等により、手入れの行き届いていない人工林や皆伐されたまま植林されずに放置された森林が増加しつつあり、公益的機能をはじめとする森林の有する多面的機能の低下が懸念されています。

このため、森林の有する機能が発揮されるとともに、森林資源が将来にわたり活用され、地域が発展することを目指して「森林資源の循環利用の促進に関するかごしま県民条例（通称:かごしまみんなの森条例）」が議員提案により平成29年12月に制定され、再造林の推進や県産材の利用促進など、森林資源の循環利用の促進に関する取組を継続的かつ包括的に展開していくこととなりました。

今回、本条例第21条に基づき、令和6年度に実施した森林資源の循環利用の促進に関する施策及びその成果等を取りまとめましたので報告します。

森林資源の循環利用の促進に関するかごしま県民条例（抄）

（施策の実施状況の報告等）

第21条 知事は、毎年度、県議会に森林資源の循環利用の促進に関して前年度に実施した施策及びその成果に関する報告書を提出するとともに、これを公表しなければならない。

目 次

I	令和6年度に実施した施策及びその成果	5
1	推進体制の整備	5
2	森林の整備及び保全	6
3	県産材の生産体制の強化	8
4	再造林及び間伐等の促進	10
5	流通加工体制の整備	12
6	県産材の利用促進	14
7	県産木材製品の国内販売等の促進	16
8	県産材の有効活用の促進	17
9	人材の確保及び育成	18
10	特用林産物の振興	20
11	普及啓発及び木育の推進	22
	(参考) 林業の主要指標の推移	24
II	みんなの森づくり県民税関係事業の取組状況〔令和6年度〕	25
	(別冊) 森林資源の循環利用の促進に関するかごしま県民条例	

I 令和6年度に実施した施策及びその成果

1 推進体制の整備（条例第10条関係）

森林資源の循環利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、各種会議等を開催し、行政と林業関係者間の情報共有を図るとともに、推進体制の整備に向けた協議等を行った。

〔 主な取組等 地域未来の森林（もり）づくり推進会議：5 流域 〕

事業名	取組及び成果等
(1) 未来につなぐ森林（もり）づくり推進事業（一部） ※みんなの森づくり県民税関係事業	○木材生産，間伐，再造林などの取組を総合的かつ一体的に推進するための会議の開催 ・未来の森林（もり）づくり推進本部会議の開催：1 回 ○普及啓発活動，技術研修会の開催 ・地域未来の森林（もり）づくり推進会議及び再造林技術研修会等の開催：5 流域



地域未来の森林（もり）づくり推進会議
（未来につなぐ森林（もり）づくり推進事業）



再造林技術研修会<ドローンによる苗木運搬>
（未来につなぐ森林（もり）づくり推進事業）

2 森林の整備及び保全（条例第11条関係）

森林の有する多面的機能の発揮を図るため、適切な森林施業に必要な森林調査や森林所有者の合意形成などの地域活動を支援するとともに、「森林経営管理市町村サポートセンター」による巡回指導や地域林政アドバイザーの育成など森林経営管理制度に取り組む市町村への支援を行った。

主な取組等 地域活動対象森林面積：62.5ha
サポートセンターによる市町村巡回指導等：269回
地域林政アドバイザー育成研修の実施：3日間

事業名	取組及び成果等
(1)森林整備地域活動支援事業	○森林経営計画の作成，森林施業の集約化のための森林調査，森林所有者の合意形成及び既存路網の簡易な改良 ・地域活動対象森林面積：62.5ha
(2)市町村森林経営管理総合支援事業	○市町村が取り組む森林経営管理制度に関するサポートセンターを通じた業務支援や，地域林政アドバイザーの育成・確保に必要な研修の開催 ・各地区説明会や検討会：152回 ・市町村への個別訪問指導：117回 ・地域林政アドバイザー育成研修：3日間，受講者6名
(3)森林管理イノベーション導入事業	○森林経営管理制度を推進するため，ドローンレーザ計測による上空からの地形解析技術等を用いた効果的な森林の集積手法の普及に向けた技術研修会の開催 ・技術研修会：4地区
(4)持続可能な森林経営推進事業	○森林認証制度の普及を図るための普及会議の開催や森林所有者が行う認証取得の取組を支援 ・森林認証普及会議：2回 ・認証取得の取組支援：2地区（認証面積6,866ha）
(5)市町村森林管理技術者等養成事業	○市町村職員を対象とした森林管理等に必要な知識や技術に関する研修の実施 ・基礎研修：1回，スキル向上研修：1回，各地区研修：7地区
(6)多様な樹種による再造林支援事業	○市町村が行う再造林推進の取組を支援するため，初期保育のコスト低減とスギ花粉発生量の減少効果が期待できるエリートツリーや早生樹（コウヨウザン）等について，育林技術指針を整備するための調査を実施 ・エリートツリー等の試験地の設置：7箇所
(7)森林管理適正化支援事業	○森林経営管理制度に基づき市町村が行う林業経営の適否の判断基準を作成するための調査を実施 ・県本土のヒノキ人工林の林分調査：22箇所 ○森林経営計画の伐採可能量やCO ₂ 吸収量の算定基準となる大島地区仮想収穫表を見直すための調査を実施 ・大島本島内の天然生広葉樹林の林分調査：25箇所



集約化対象森林の確認
(森林整備地域活動支援事業)



森林経営管理制度の住民説明会
(市町村森林経営管理総合支援事業)



地域林政アドバイザーの育成研修
(市町村森林経営管理総合支援事業)



ドローンレーザ計測による地形解析の技術研修
(森林管理イノベーション導入事業)



森林認証普及会議
(持続可能な森林経営推進事業)



スキル向上研修
(市町村森林管理技術者等養成事業)

3 県産材の生産体制の強化（条例第12条関係）

木材を安定的かつ効率的に生産するため、生産基盤となる森林管理道、林業専用道等を、それぞれの目的・役割に応じて計画的に整備するとともに、低コスト作業システムの構築を図るために必要な高性能林業機械等の導入を支援した。

主な取組等	森 林 管 理 道：	3,217m
	林 業 専 用 道：	1,943m
	森林作業道等：	151,651m
	路網整備合計：	156,811m
	高性能林業機械等：	4 台

事 業 名	取組及び成果等
(1)林道事業	○機械化等による効率的な森林施業に必要な森林管理道，林業専用道を計画的に整備 ・森林管理道：3,217m ・林業専用道：883m
(2)造林補助事業（一部）	○間伐材の搬出等を効率的に実施するための森林作業道の整備 ・森林作業道：37,350m
(3)ふるさとの森生産性強化対策事業（一部）	○間伐材の搬出を効率的に実施するための林業専用道及び森林作業道の整備 ・森林作業道：59,117m ○森林整備の効率的かつ円滑な実施及び低コスト作業システムの構築を図るために必要な高性能林業機械等の導入 ・高性能林業機械：1 台
(4)次世代ふるさとの森再生事業（一部）	○間伐材の搬出を効率的に実施するための林業専用道及び森林作業道の整備 ・林業専用道：1,060m ・森林作業道：16,653m
(5)林業・木材産業構造改革事業（一部）	○森林整備の効率的かつ円滑な実施及び低コスト作業システムの構築を図るために必要な高性能林業機械等の導入 ・高性能林業機械等：3 台
(6)未来につなぐ森林（もり）づくり推進事業（一部） ※みんなの森づくり県民税関係事業	○間伐材搬出に必要な作業路・集材路の整備及び間伐等に必要な機械・器具の導入 ・作業路及び集材路：38,531m ・機械・器具：8 台



森林管理道の整備
(林道事業)



森林管理道の活用状況
(林道事業)



林業専用道の整備
(次世代ふるさとの森再生事業)



森林作業道の整備
(ふるさとの森生産性強化対策事業)



高性能林業機械等の導入
(ふるさとの森生産性強化対策事業)



高性能林業機械等の導入
(林業・木材産業構造改革事業)

4 再造林及び間伐等の促進（条例第13条関係）

多様で健全な森林を育成するため、造林補助事業等により再造林や間伐等の森林整備を推進するとともに、再造林等のスマート化による低コスト・省力化の取組を支援した。

また、再造林に必要な優良苗木の安定的な供給に向けた採穂園等の整備や苗木生産者の確保・育成、優良種穂の配付等に取り組むとともに、スギ優良品種の選定や下刈り作業の省力化の検証等を行った。

主な取組等 人工造林：1,266ha（うち再造林：1,242ha）
間伐：1,428ha（うち搬出間伐：1,152ha）
（※実施面積は補助事業以外も含む）

事業名	取組及び成果等
(1)造林補助事業(一部)	○多様で健全な森林を育成するための人工造林，下刈，間伐等の森林整備への支援 ・人工造林：1,197ha ・除伐：461ha ・下刈：3,844ha ・間伐：570ha ほか
(2)種苗事業	○再造林に必要な優良苗木の安定的な供給に向けた育種母樹の整備，穂木採取支援，コンテナ苗生産施設の整備，苗木生産技術向上講座の開催，苗木生産相談窓口の設置，需給連絡協議会の開催等 ・母樹造成（改良等含む）：3.74ha ・穂木採取支援：794,500本 ・コンテナ苗生産施設：ビニールハウス，コンテナ容器等 ○優良種穂（クロマツ種子及びスギ穂）の採取・配分 ・スギ穂：80,000本
(3)ふるさとの森生産性強化対策事業(一部)	○人工造林，間伐への支援 ・人工造林：21ha ・搬出間伐：379ha
(4)次世代ふるさとの森再生事業（一部）	○間伐への支援 ・搬出間伐：103ha
(5)森林資源情報の高度利用支援事業	○森林調査の省力化を図るため，航空レーザ計測による森林資源解析の実施 ・森林資源解析：6,145ha
(6)再造林等のスマート化支援事業	○再造林等のスマート化による低コスト・省力化の取組を支援 ・ドローンによる苗木運搬等の取組支援：4件
(7)未来につなぐ森林（もり）づくり推進事業（一部） ※みんなの森づくり県民税関係事業	○間伐等の森林整備への支援 ・除伐・つる切り：317ha，機能増進間伐：65ha，間伐：140ha ○人工林伐採跡地における再造林等への支援 ・再造林：1,048ha ・防護柵設置：85,014m ・低密度植栽：14ha ・地拵え：81ha ・下刈：2,309ha ・意欲ある森林所有者による再造林等：328ha ○スギ優良品種の選定 ・スギ優良品種のコンテナ苗生産に向けた育苗の適性や造林地での成長特性の調査 ○下刈り作業の省力化の検証 ・新たな下刈り時期の検証に向けた雑草木の再生状況や成長量等の調査



再造林施行箇所
(造林補助事業)



苗木生産技術向上講座
(種苗事業)



搬出間伐の状況
(ふるさとの森生産性強化対策事業)



ドローンによる苗木運搬状況
(再造林等のスマート化支援事業)



間伐施行箇所
(未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業)



次世代スギコンテナ苗の成長量調査
(未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業)

5 流通加工体制の整備（条例第14条関係）

県産材を低コストで安定的に供給できる体制の構築や、木材製品の品質向上等による県産材の競争力強化、かごしま J A S 材の生産体制の整備を図るため、集荷拠点となる中間土場の活用、木材加工流通施設の整備、機械等級区分構造用製材の J A S 認証取得を支援した。

また、木材産業を取り巻く情勢の変化に対応するため、木材の需給及び流通の動向を的確に把握し、その情報発信に努めた。

主な取組等 木材加工流通施設の整備：2 施設
中間土場の活用支援：2 箇所

事業名	取組及び成果等
(1)林業・木材産業構造改革事業	○木材加工流通施設の整備のほか、同事業等により整備した木材加工流通施設や木質バイオマス利用促進施設の効率的かつ効果的な利用を促進するための経営管理指導の実施 ・木材加工流通施設の整備：1 施設 ・経営管理指導：7 事業体(延べ8回)
(2)力強い木材産業生産性強化対策事業	○木材の安定的かつ効率的な供給体制の構築を図るための木材加工流通施設の整備 ・木材加工流通施設の整備：1 施設
(3)県産材生産・流通コスト低減対策事業	○素材生産業者と木材加工業者の直送取引の増大に向けた検討及び支援 ・原木安定供給地域協議会の開催：4 地域 ・中間土場の活用支援：2 箇所 ・I C Tを活用した研修会の開催：4 地域 ・木材検収ソフトの導入支援：1 件 ・森林作業道作設技術者育成研修の開催：1 回 ・原木需給情報管理システムの導入支援：1 件
(4)木材需給対策事業	○木材の需給及び価格等に関する情報を収集し、毎月、県ホームページに掲載
(5)木材産業近代化対策事業	○木材・製材業者等を対象に素材や製材品の生産量、出荷量等の実態調査を実施 ・木材需給動向調査（素材生産量）：57件 ・木材業・製材業動態調査：129件
(6)かごしま材競争力強化対策事業	○機械等級区分構造用製材の J A S 認証取得を支援 ・認証取得に要する経費の助成：1 工場



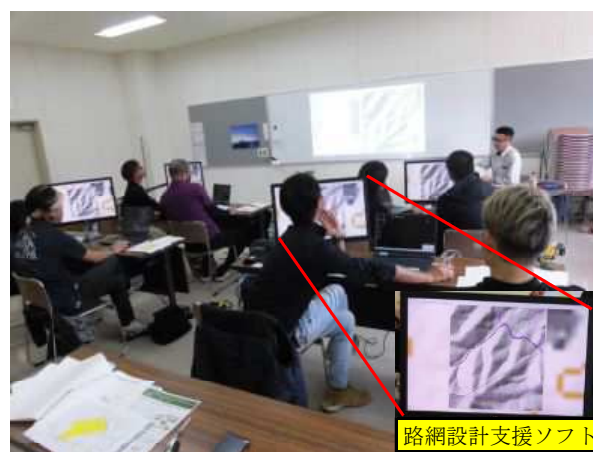
木材加工流通施設の整備
 〈ツインリップソー〉
 (林業・木材産業構造改革事業)



木材加工流通施設の整備
 〈プレカット加工施設〉
 (力強い木材産業生産性強化対策事業)



中間土場の活用支援
 〈出荷先毎の仕分け状況〉
 (県産材生産・流通コスト低減対策事業)



森林作業道作設技術者育成研修
 〈デジタル技術を活用した路線計画演習〉
 (県産材生産・流通コスト低減対策事業)

路網設計支援ソフト

6 県産材の利用促進（条例第15条関係）

県産材を活用した木造施設等の整備や「かごしま緑の工務店」の活動を支援するとともに、施主に対する「かごしま木の家」等の普及・PRを実施した。

また、かごしまJAS材を活用した建築物の建設を予定している事業者（市町村含む）を対象に木造建築エキスパートを派遣したほか、構造見学会を開催するなど、かごしまJAS材の利用促進を図った。

主な取組等 木造施設の整備：4施設
かごしま緑の工務店の活動支援：19社
木造建築エキスパートの派遣：2回

事業名	取組及び成果等
(1)木造公共施設整備事業	○地域材を活用した木造公共施設の整備 ・木造公共施設の整備：1施設
(2)木とふれあう環境づくり推進事業(一部) ※みんなの森づくり県民税関係事業	○多くの人たちが木の良さを実感できる木造施設等の整備や新規性・デザイン性に優れた木製品の開発を支援 ・木造施設の整備：3施設 ・木製品の設置：9件（遊具等） ・木製品の開発：2件（組立式木製コンポスト等） ○かごしま材利用建築物コンクール受賞建築物の周知・PR ・第1回かごしま材利用建築物コンクール受賞建築物を紹介するパネルを作成：7枚
(3)木材利用推進事業	○県産材の利用推進方策等についての協議等 ・木材利用推進協議会の開催：1回
(4)木のぬくもりあふれる「かごしま木の家」推進事業	○かごしま材を積極的に使用して家づくりに取り組む「かごしま緑の工務店」の登録及び活動支援、普及・PR ・かごしま緑の工務店の登録：175社（令和6年度末） ・かごしま緑の工務店の活動支援：19社 ・SNSを活用した広告配信：動画配信2回，静止画配信1回
(5)かごしま材競争力向上促進事業（一部）	○認証かごしま材の品質等の確認検査及び生産体制指導 ・品質等確認検査及び指導：13工場 ○木造建築の専門家派遣，構造見学会の開催 ・木造建築エキスパートの派遣：2回 ・構造見学会の開催：1回（27名）
(6)かごしまJAS材需要拡大事業	○設計技術者が非住宅建築物等の木造化・木質化に取り組みやすい環境を整備 ・木造建築コスト比較集の作成



地域材を活用した診療所の整備
(木造公共施設整備事業)



木造施設等の整備
(木とふれあう環境づくり推進事業)



かごしま緑の工務店の完成見学会
(木のぬくもりあふれる「かごしま木の家」推進事業)



SNSを活用した「かごしま木の家」PR
(木のぬくもりあふれる「かごしま木の家」推進事業)



木造建築エキスパートによる技術支援
(かごしま材競争力向上促進事業)



構造見学会
(かごしま材競争力向上促進事業)

7 県産木材製品の国内販売等の促進（条例第16条関係）

県産材輸出促進協議会製材品部会や県産材輸出促進セミナーの開催などにより、関係者の情報共有及び連携強化を図るとともに、輸出業者が行う商談等に対する支援、海外の建築建材等展示会への合同出展など、付加価値の高い製材品の輸出拡大を促進した。

また、都市部で開催された展示会へ県産 J A S 製材品を出展するなど、県産木材製品の販路拡大を促進した。

〔 主な取組等 輸出業者等が行うトライアル輸出等に対する支援：6 社
都市部で開催される展示会への出展：1 回 〕

事業名	取組及び成果等
(1) 稼ぐ「かごしま材」輸出促進強化事業	○ 県産製材品の輸出拡大に向けた取組や支援を実施 ・ 県産材輸出促進協議会製材品部会の開催：1 回 ・ 県産材輸出促進セミナーの開催：1 回 ・ 輸出業者等が行う商談やトライアル輸出等に対する支援：6 事業体 ・ 海外の建築建材等展示会（台湾）への合同出展：1 回
(2) かごしま材競争力向上促進事業（一部）	○ 県産 J A S 製材品の販売拡大に向けた取組を実施 ・ 都市部で開催される展示会への出展：1 回



県産材輸出促進セミナー
（稼ぐ「かごしま材」輸出促進強化事業）



海外商社の招へい
（稼ぐ「かごしま材」輸出促進強化事業）



台湾の建築建材等展示会
（稼ぐ「かごしま材」輸出促進強化事業）



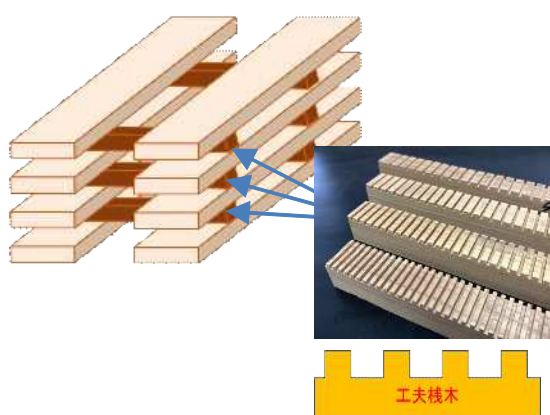
都市部の展示会への出展
（かごしま材競争力向上促進事業）

8 県産材の有効活用の促進（条例第17条関係）

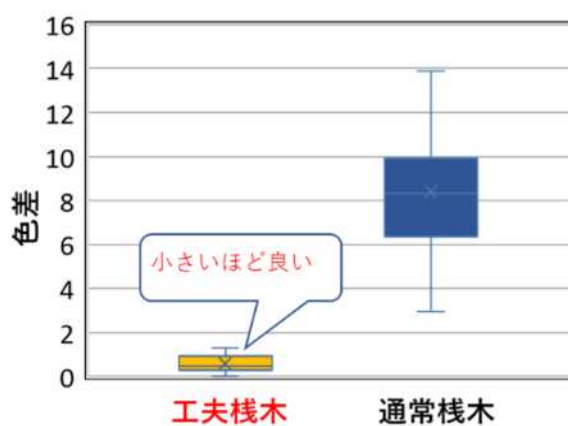
県産材の利用拡大を図るため、「^{さんぎこん}栈木痕の発生を抑制する板材の乾燥技術の開発」
「県産スギ材の圧密処理による曲げ性能向上に関する研究」に取り組んだ。

〔主な取組等 新たな木製品・技術の開発に関する研究：2課題〕

事業名	取組及び成果等
(1)県単試験事業	○新たな木製品・技術の開発に関する研究 ^{さんぎこん}栈木痕の発生を抑制する板材の乾燥技術の開発 ・県産スギ材の圧密処理による曲げ性能向上に関する研究

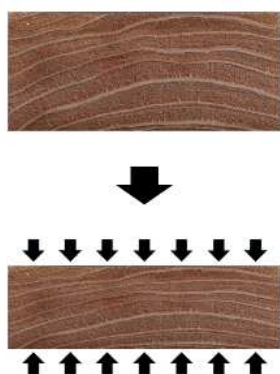


^{さんぎ}栈木形状の工夫



研究結果

^{さんぎこん}栈木痕の発生を抑制する板材の乾燥技術の開発



圧密



研究結果

県産スギ材の圧密処理による曲げ性能向上に関する研究

9 人材の確保及び育成（条例第18条関係）

林業担い手の確保・育成を図るため、林業就業相談などの就業促進に取り組むとともに、技能レベルに応じた各種研修を「鹿児島スーパーきこり塾」として段階的かつ体系的に実施したほか、事業体が行う雇用拡大等の取組への支援や林業大学校の開校に向けて必要な準備を行った。

また、建築物の木造化・木質化に必要な知見を有する設計者等を育成するため、中高層・非住宅建築セミナーや技術講習会を開催した。

主な取組等 「鹿児島きこり塾」 入門コース（5日間）：17人
 専門コース（14日間）：9人
 森林経営プランナー育成研修：全体研修2回
 地域研修10回
 かごしま林業大学校運営協議会：3回
 中高層・非住宅建築セミナー：1回
 建築関係者への技術講習会：14回

事業名	取組及び成果等
(1)林業担い手確保・育成総合対策事業	○林業就業促進のためのPR・相談・情報提供活動等の実施 ・「鹿児島きこりNET」を活用した情報発信やオンライン就業相談会の開催 ・高校生等を対象にしたバスツアーの実施（5回） など ○大学や関係団体と一体となった「鹿児島スーパーきこり塾」の実施 ・「鹿児島きこり塾」の開催（26人） ・技能講習・安全教育等（166人） ・森林・林業リカレント研修（12人） ・実践研修（高性能林業機械8人、再造林効率化10人） ・再造林・保育技術者育成研修（3人） ・森林経営プランナー育成研修（新規育成者数18人） ・安全指導者育成研修（18人） ・高度技能者育成研修（12人） など ○「意欲と能力のある林業経営者」の育成・強化等 ・雇用拡大等の取組支援（13事業体） ・雇用管理改善等指導（研修会1回、巡回指導等128回、改善指導等5回） ・作業システム改善指導（25事業体、165回） ・林業労働安全衛生巡回指導（26事業場） ○林業大学校の開校に向けた、研修生の募集活動、カリキュラムの編成、資機材等の整備、サポート体制の構築などの実施 ・運営協議会の開催：3回 ・サポートチーム会議の開催：2回 ・実技指導者養成研修の開催：1回
(2)地域リーダー活動促進事業	○若手林業従事者を対象に地域リーダー養成講座を行うとともに、指導林家・指導林業士・青年林業士等の活動を支援 ・地域リーダー養成講座の開催（11人） ・地域リーダー等技術研修・交流会の開催（63人） ○地域リーダーの認定 ・指導林家：1人 ・指導林業士：2人 ・青年林業士：5人
(3)かごしま材競争力向上促進事業（一部）	○かごしまJAS材の需要拡大を担う設計技術者等を対象に、セミナーを開催 ・中高層・非住宅建築セミナーの開催：1回（39名）
(4)建築関係者を対象とした木材利用の普及啓発	○他部局等が開催する研修会において、木材利用の取組紹介 ・市町村公立学校施設整備等説明会：1回（61人） ・農業農村整備事業設計積算担当者研修会：資料配付 ・建築技術職員等担当者研修会：1回（92人） ・建築技術講習会：12回（309人）



林業就業促進のための相談会
(林業担い手確保・育成総合対策事業)



鹿児島きこり塾
(林業担い手確保・育成総合対策事業)



森林経営プランナー育成研修
(林業担い手確保・育成総合対策事業)



技能講習・安全教育等
(林業担い手確保・育成総合対策事業)



地域リーダー養成講座
(地域リーダー活動促進事業)



中高層・非住宅建築セミナー
(かごしま材競争力向上促進事業)

10 特用林産物の振興（条例第19条関係）

特用林産物の生産拡大を図るため、担い手の確保・育成や生産基盤の整備，消費拡大の取組を一体的に進め，地域の特性を活かした特用林産物の産地づくりを推進した。

また，豊富な竹林資源を活かして地域の活性化を図るため，早掘りたけのこの生産体制の強化や竹材の有効活用を支援した。

主な取組等 生産者養成講座：12回（48人）
生産基盤等整備：枝物の樹林造成0.12haほか機械導入等
竹林改良：12.18ha
竹林の管理路整備：901m

事業名	取組及び成果等
(1)特用林産物の恵み豊かな産地づくり事業	○担い手づくり ・かごしま原木しいたけ生産者養成講座の開催：5回（16人） ・枝物生産者養成講座の開催：4回（19人） ・新規生産者の原木，種駒助成：原木8,334本，種駒208千個 ○生産体制づくり ・枝物樹林造成（ヒサカキ）：0.12ha - 動力噴霧機等：13台 ・原木しいたけ乾燥機等：4台 ・竹炭竹炭釜：3基 ○需要づくり ・かごしま原木しいたけフェア等の開催 ・かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）の周知及び取得促進 ・森のごちそうコンクールの開催：1回 ・消費拡大推進のための食育支援：21小中学校
(2)活動火山周辺地域防災林業対策事業	○降灰防止施設の整備 ・ビニールハウス：0.03ha
(3)かごしまの竹で育む産地づくり事業	○担い手づくり ・たけのこ生産者養成講座の開催：3回（13人） ○生産体制づくり ・竹林改良：12.18ha ・管理路：901m ・生産機械：1台 ○需要づくり ・竹製品まつりの開催：1回 ・新たな竹製品の開発と普及・PRの取組支援：1件
(4)林産物等振興対策事業	○生産流通情報の収集・提供 ・たけのこ・しいたけ等の生産流通情報の収集・提供 ・花木類等の生産流通情報の収集・提供
(5)しいたけ等振興資金貸付事業	○原木等購入資金 ・原木購入：140m³，種駒購入：18千個 ○共販資金 ・乾しいたけの共販実績：4,959kg（運用件数：80件）
(6)きのこの生産資材導入支援事業	○コスト縮減等に取り組む生産者に対して，米ぬか等の資材価格上昇分の経費を支援 ・取組実施者：5者



枝物生産者養成講座
(特用林産物の恵み豊かな産地づくり事業)



原木購入の助成
(特用林産物の恵み豊かな産地づくり事業)



原木しいたけフェア
(特用林産物の恵み豊かな産地づくり事業)



森のごちそうコンクール
(特用林産物の恵み豊かな産地づくり事業)



竹林改良
(かごしまの竹で育む産地づくり事業)



竹製品まつり
(かごしまの竹で育む産地づくり事業)

11 普及啓発及び木育の推進（条例第20条関係）

森林にふれあう機会や森林整備を体験する機会を提供するとともに、県民が自ら企画・実施する学習・体験活動を支援し、県民参加による森林（もり）づくりを推進した。

また、幼稚園等の子供たちが木の良さや利用の意義を学ぶ木育を実施するとともに、小・中学校や高等学校の児童・生徒に対して、森林環境教育を実施し、森林・林業の果たす役割や重要性について理解を深め、将来にわたって森林を守り育てる意識の醸成を図った。

主な取組等 九州森林(もり)の日植樹祭：参加者332人
小・中学校及び高等学校を対象とした森林環境教育：20校 902人
幼稚園等における木育活動：321回 参加者延べ9,693人

事業名	取組及び成果等
(1)森林(もり)とのふれあい推進事業 ※みんなの森づくり 県民税関係事業	○森林(もり)とのふれあいの場の提供 ・九州森林(もり)の日植樹祭の開催：332人 ○森林・林業の体験活動への支援 ・森林(もり)の体験活動支援：延べ5,241人 ○森林(もり)づくり活動の広報 ・ポスター作成・配布：500部 ・ノベルティグッズ作成・配布：90個 ・マスメディア等広告：市電窓吊り,市バス側面広告14日間,インターネット広告17日間（約480万回）
(2)森林環境教育推進事業 ※みんなの森づくり 県民税関係事業	○小・中学校を対象とした森林環境教育の実施（森林環境学習,間伐現場等の体験学習） ・実施校数：16校（児童・生徒 787人） ○高等学校を対象とした森林環境教育の実施（森林環境学習,木材生産・加工施設等の体験学習） ・実施校数：4校（生徒 115人） ○森林環境教育指導者研修の実施 ・小・中学校の教職員を対象に開催：1回（9人） ○学校環境緑化・学校林等活動コンクールの実施 ・学校環境緑化の部：17校 ・学校林等活動の部：3校
(3)木とふれあう環境づくり推進事業（一部） ※みんなの森づくり 県民税関係事業	○県産材の普及 ・「かごゆいテラス」における木製品の展示及びPR ・「かごしま木材まつり」の開催：約9,000人 ○木育の推進 ・木育インストラクターの養成：24人 ・木育活動の実施：321回（延べ9,693人） ・木育環境の整備：5施設（木製玩具など） ・親子木工教室の開催：19回



森林づくり活動の広報
(森林(もり)とのふれあい推進事業)



九州森林(もり)の日植樹祭
(森林(もり)とのふれあい推進事業)



森林環境学習
(森林環境教育推進事業)



木製品の展示・PR
(木とふれあう環境づくり推進事業)



木育インストラクターの養成
(木とふれあう環境づくり推進事業)



木育活動の実施
(木とふれあう環境づくり推進事業)

(参考) 林業の主要指標の推移

年 度	R2	R3	R4	R5 (対前年度比)	R6 (対前年度比)
木 材 生 産 量 (千m ³)	1,176	1,266	1,387	1,362 (98%)	調査中 (-)
林 産 物 生 産 額 (百万円)	15,195	19,806	20,612	19,119 (93%)	調査中 (-)
再 造 林 面 積 (ha)	751	837	1,004	1,134 (113%)	1,242 (110%)
県 産 材 輸 出 量 (千m ³)	275	257	279	302 (108%)	363 (120%)
県 産 材 輸 出 額 (百万円)	3,127	3,329	3,382	3,673 (109%)	4,727 (129%)
林 業 就 業 者 数 (人)	1,411	1,407	1,405	1,401 (100%)	調査中 (-)

Ⅱ みんなの森づくり県民税関係事業の取組状況〔令和6年度〕

1 制度の概要

(1) 税の目的

森林環境の保全及び森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策に要する財源の確保

(2) 課税の仕組み

個人	現行の県民税均等割額に500円を加算
法人	現行の県民税均等割額に均等割額の5%相当額を加算

(3) みんなの森づくり県民税条例の適用期間

〔第1期〕平成17～21年度	〔第2期〕平成22～26年度
〔第3期〕平成27～令和元年度	〔第4期〕令和2～6年度

(4) 税収見込額等 (単位：千円)

区 分	3月補正後
税 収 見 込 額	450,805
徴 収 取 扱 費	19,966
関係事業への税充当額	430,839



2 関係事業

(単位：千円)

事 業 概 要	3月補正後 予 算 額
1 森林（もり）にまなびふれあう推進事業 森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成を図るため、森林・林業に関する学習や体験活動への支援、森林環境教育の推進、自治会やNPO、企業などが行う森林づくりへの支援、木の良さを学ぶ「木育」の実施や木造施設の整備等への支援を行う。	72,905 (64,759) [8,146]
① 森林（もり）とのふれあい推進事業 ・森林にふれあう機会や森林整備等を体験する機会の提供 ・森林・林業に関する学習・体験活動への支援	21,439 (19,131) ※3[2,308]
② 森林環境教育推進事業 ・児童・生徒等に対する森林環境教育の実施 ・学校環境緑化・緑の少年団活動への支援	6,035 (1,075) ※3[372] ※1[4,588]
③ 多様な主体による森林（もり）づくり促進事業 ・森林（もり）づくり活動に取り組む企業への支援 ・森林ボランティアへの技術研修や若年層の森林ボランティア活動の促進	1,750 (872) ※3[878]
④ 木とふれあう環境づくり推進事業 ・木育の実施や木育教材等の導入への支援 ・木の良さを実感できる木造施設の整備等への支援 ・新規性・デザイン性に優れた木製品開発への支援や県産材利用の普及	43,681 (43,681)
2 森林（もり）をまもりそだてる整備事業 森林環境の保全を図るため、再造林や間伐等の森林整備を支援するとともに、雑木竹林やマツ枯損木の伐採整理などの対策を促進する。	385,931 (366,080) [19,851]
① 未来につなぐ森林（もり）づくり推進事業 ・人工林伐採跡地における再造林等への支援 ・多様で健全な森林を育成するための間伐等の森林整備や路網整備等への支援	342,398 (342,238) ※3[160]
② 里山林等保安全管理促進事業 ・幹線道路沿線や集落周辺の雑木竹林の伐採整理など里山景観の整備への支援 ・地域特性を生かした里山林整備への支援 ・被害松林の樹種転換など里山林の機能回復への支援	43,533 (23,842) ※3[8,691] ※2[11,000]
合 計	458,836 (430,839) [27,997]

注1 ()はみんなの森づくり県民税充当額

※1[]は環境保全基金充当額、※2[]は、共生・協働の地域社会づくり基金充当額、※3[]は一般財源充当額

3 みんなの森づくり県民税関係事業の主な取組状況

➤(1)森林(もり)にまなびふれあう推進事業

① 森林(もり)とのふれあい推進事業

〔目的〕 森林にふれあう機会や森林整備を体験する機会を提供するとともに、森林・林業に関する学習や体験活動を支援します。

森林・林業の学習や体験活動
(製材・加工場の見学)



森林・林業の学習や体験活動
(森林の生物多様性についての学習)



「九州森林(もり)の日」の活動



【主な実績】

区分	R2	R3	R4	R5	R6	計
森林・林業に関する学習や体験 (助成件数)	36 件	29 件	34 件	32 件	33 件	164 件
活動への支援 (参加者数)	5,233 人	3,499 人	5,336 人	4,939 人	5,241 人	24,248 人

② 森林環境教育推進事業

〔目的〕 児童・生徒等に対する森林環境教育を実施するとともに、学校環境緑化や緑の少年団活動を支援します。

森林環境教育
(小学生: 植樹体験)



森林環境教育
(高校生: 木造施設の見学)



学校環境緑化



【主な実績】

区分	R2	R3	R4	R5	R6	計
小・中学校等の児童・生徒等に (実施校数)	17 校	17 校	20 校	20 校	20 校	94 校
対する森林環境教育の実施 (参加者数)	1,050 人	1,536 人	1,097 人	1,533 人	902 人	6,118 人

③ 多様な主体による森林(もり)づくり促進事業

〔目的〕 森林づくり活動に取り組む企業への支援, 森林ボランティア技術研修を実施するとともに, 若年層の森林ボランティア活動を促進します。

企業の森林(もり)づくり活動
(企業による植栽)



森林ボランティア技術研修
(刈払機の取扱)



若年層の森林ボランティア活動
(森林ボランティア活動への学生参加)



【主な実績】

区分	R2	R3	R4	R5	R6	計
森林ボランティア技術研修の実施 (参加者数)	165 人	135 人	173 人	171 人	151 人	795 人

④ 木とふれあう環境づくり推進事業

〔目的〕 木育の実施や木育教材等の導入を支援するとともに, 木の良さを実感できる木造施設等の整備や新規性・デザイン性に優れた木製品開発を支援します。

木育インストラクターによる木育



木造施設等の整備
(保育施設の内装木質化)



木製品の開発
(組み立て式木製コンポスト)



【主な実績】

区分	R2	R3	R4	R5	R6	計
木育インストラクターの養成 (養成数)	24 人	15 人	14 人	22 人	24 人	99 人
木育教材等の導入への支援 (助成件数)	2 件	1 件	3 件	1 件	5 件	12 件
木造施設等の整備への支援 (助成件数)	11 件	10 件	9 件	12 件	12 件	54 件
木製品の開発への支援 (助成件数)	3 件	2 件	2 件	3 件	2 件	12 件

➤ (2) 森林(もり)をまもりそだてる整備事業

① 未来につなぐ森林(もり)づくり推進事業

【目的】 人工林伐採跡地における再造林等を支援するとともに、多様で健全な森林を育成するための間伐等の森林整備や路網整備等を支援します。

人工林伐採跡地の再造林



間伐された森林



作業路網等の整備



【主な実績】

区分	R2	R3	R4	R5	R6	計
再造林等への支援 (面積)	2,086 ha	2,641 ha	4,043 ha	4,303 ha	4,859 ha	17,931 ha
間伐等への支援 (面積)	412 ha	402 ha	375 ha	343 ha	522 ha	2,054 ha
作業路網等の整備への支援 (延長)	97 km	92 km	62 km	48 km	39 km	338 km

② 里山林等保全管理促進事業

【目的】 里山林等における雑木竹林の伐採整理や倒伏のおそれのある枯損木等の伐倒・除去などを支援します。

雑木竹林の伐採整理



枯損木等の伐採・除去への支援



地域住民が共同で行う里山林整備



【主な実績】

区分	R2	R3	R4	R5	R6	計
雑木竹林の伐採整理等への支援 (面積)	5.09 ha	5.25 ha	5.61 ha	6.63 ha	3.76 ha	26.34 ha
枯損木等の伐倒・除去への支援 (材積)	1,667 m ³	1,522 m ³	937 m ³	548 m ³	505 m ³	5,179 m ³
地域住民が共同で行う里山林整備 (下草刈等) への支援 (箇所数)	3 箇所	6 箇所	10 箇所	14 箇所	9 箇所	42 箇所